

国土交通省あてに頂いた
個人の方からの意見
(前回地方小委員会(4/12)以降)の報告

【目次】

番号	要望日	要望団体等	頁数
1	平成24年 6月 1日	北杜市別荘所有者	2-3
2	平成24年 6月25日	北杜市別荘所有者	4-6
3	平成24年 7月 8日	北杜市民	7
4	平成24年 7月 8日	北杜市民	8
5	平成24年 7月 8日	北杜市民	9
6	平成24年 7月 8日	北杜市民	10
7	平成24年 8月18日	北杜市民	11
8	平成24年 8月23日	北杜市民	12-13
9	平成24年 8月30日	北杜市民	14-15
10	平成24年 8月31日	北杜市別荘所有者	16
11	平成24年 8月31日	北杜市別荘所有者	17
12	平成24年 9月 2日	北杜市民	18
13	平成24年 9月 2日	北杜市民	18
14	平成24年 9月 4日	北杜市別荘所有者	19
15	平成24年 9月 4日	北杜市別荘所有者	19
16	平成24年 9月 4日	北杜市別荘所有者	20
17	平成24年 9月 4日	北杜市民	21
18	平成24年 9月 4日	北杜市民	22
19	平成24年 9月 6日	北杜市民	22
20	平成24年 9月10日	北杜市民	23
21	平成24年 9月10日	北杜市民	23
22	平成24年 9月10日	北杜市民	24
23	平成24年 9月10日	北杜市民	25
24	平成24年 9月11日	北杜市民	26
25	平成24年 9月11日	北杜市民	26
26	平成24年 9月11日	北杜市民	27
27	平成24年 9月14日	北杜市民	27
28	平成24年 9月11日	北杜市民	28
29	平成24年 9月12日	北杜市民	29-30
30	平成24年 9月18日	北杜市民	31
31	平成24年 9月21日	北杜市民	31
32	平成24年 9月21日	北杜市民	32
		本省ホットラインステーションへの意見一覧表	33-35

※次頁以降の資料は、個人に関する情報であって、特定の個人を識別できるものについて黒塗りしております。

◆個人①（No. 1）（平成24年6月1日）

国土交通省
関東地方整備局道路部長 池田豊人 様

冠省

以下の文面は、＜中部横断自動車道＞について、
社会資本整備審議会道路分委会関東地方小委員会の委員8名の方々に送らせて
いただいた文面でございます。

委員の皆様と同様にご検討されますことを心よりお願い申し上げます。

敬具

社会資本整備審議会道路分委会関東地方小委員会

様

拝啓

突然お手紙を差し上げます失礼をお許してください。

私は、山梨県北杜市大泉町に別荘を所有するものです。

＜中部横断自動車道＞について、

御小委員会の本年4月12日の議事録を精読し、甚だ疑問に思う所があり手紙
を差し上げる次第です。

会議での委員長の間頭のご挨拶にありました

——十分なコミュニケーションが行われているかどうかという点などにも目
配りしていただいてご審議を頂ければと思いますので——

との御言葉とはかけ離れた、別荘所有者を全く無視した極めてアンフェアな
偏ったアンケートの結果等の資料をもとにされての会議であったことが明々
白々であったからです。

議事録3ページ及び4ページに、アンケートの配布枚数と配置場所及び配置方
法が記されておりますが、その中には＜別荘所有者＞と言う言葉一切ありま

せん。

従いまして、2月8日の第一回オープンハウス及び2月12日の第二回オープ
ンハウスの案内は一切知らされておられません。

5月30日に、北杜市大泉町役場のある職員に＜中部横断道路＞について説明
を求めたところ、（別紙ご参照ください）今では全く何の役にも立たないもので
した。

北杜市に4000戸ある（同じ職員に確認した数字です）私達別荘所有者の誰
一人にもその案内が届けられていない事実（同職員も認識していました）を御
小委員会の皆様はどのようにお考えになりますでしょうか。

当然、私もこの事実を全く知り得ず、4月末に食事処のご主人に『高速道路が
出来るの知っている？』の一言で知ったのでした。その後すぐに知り合いの教
人の別荘所有者に聞いても誰も全く知っていませんでした。

本年2月12日に開かれた、オープンハウスの会場にて参加者の一人が国交省
のある方に（個人攻撃することが目的ではないので氏名はあえて記しません）

『別荘の方達には、何故アンケート用紙が配られなかったのでしょうか？違法で
はありませんか？』

と聞いたところ、その国交省のある方は黙ってしまわれて、ボツリと

『別荘のある人たちや住民票のある人にも、アンケートが配られなかったのは、
我々の不徹底さです』

と答えたとのことでした。

正に、この段階でアンケート資料の作成及び収拾分析が国交省側に曲げられて
のものであることを国交省のその方は認めていたことになります。

議事録には、配布枚数や配置場所等を記されていますが、始めから私達別荘所
有者には知らせる意図が全くなかったと思えてならない記述でした。

ましてや、議事録に事務局の説明にありますように、＜中部横断自動車＞の計
画なるものの存在を知らされていない一般住民及び別荘所有者が、サービスエ
リアやパーキングエリアや道の駅や役場にわざわざ資料を取りに行く人がいる
わけがありません。WEBについても載っていますが、＜中部横断自動車道＞
の計画そのものを知らない人たちがそのサイトを開くわけもございません。

◆個人① (No.2)

このことは国交省側のあきらかな言い訳、臆弁であり、作爲的でさえあります。

全住民及び別荘所有者に郵便物にて知らされるのが一番確実な方法だったので
す。

また、肝心の＜中部横断自動車道＞との名称ですが、現実には＜高速道路＞で
あって、＜中部横断高速道路＞もしくは＜中部横断自動車専用道路＞と称すべ
きでありますのに、あたかも一般道の建設のごとき名称にも甚だ国交省の作爲
的意図を感じずにはおれません。

いずれにしても、別荘所有者の現住所等は（固定資産税及び環境税にて）
全て把握されているのですから、公平に全住民及び全別荘所有者に知らせるべ
きでした。

これからがお願いです。

＜中部横断自動車道＞建設の是非か、あるいは賛成か反対か、設置場所等を
御小委員会にてご検討を頂く前に、北杜市に別荘を所有する人全てに住民の
方々と同等にオープンハウスの開催を改めて知らせ、説明会を開催していただ
きたくお願い申し上げます。

なお、その開催日ですが、参加しやすい土曜日日曜日休日にさせていただくこと
でより多くの参加者が集まれると思いますし、その開催日も一ヶ月以上前に案
内を頂けたらより広く集まっていたけると願っております。

その結果を踏まえることで御小委員会の方々の本問題へのより正確な情報とな
り得、かつ結果として日本の大切な将来への御小委員会の皆様の大きなご貢献
と成り得ると考えます。

なお、同封の写真は、5月30日に散歩がてらに見つけたものですが今後は同
様のものが設置されると聞いており、このまま別荘所有者に知らせが行かない
場合は私達で運動を起こし広く知らしめねばならぬと考えておりますが、いず
れにしても国交省なり北杜市から住民及び別荘所有者全てに本問題を知ら

せていただくのが第一の筋と考えます。

全てはそこから始めてこそ公平な判断がなされると考えます。

何とぞ宜しくご検討頂き、国交省の方そうにご指導頂けますよう心よりお
願い申し上げます。

敬具

平成24年6月1日

[Redacted signature block]

◆個人②（No.1）（平成24年6月25日）

国土交通省
関東地方整備局道路部道路計画第一課長 甲斐一洋 様

前略

下記の手紙を国土交通省社会資本整備審議会道路分委会関東地方小委員会の委員の皆様へ送らせていただきました。

趣旨は6月1日に送りました手紙と同様ですが、＜中部横断自動車道＞に關しましての国土交通省の關係者からの私へのお返事をいただきたくお願い申し上げます。

草々

国土交通省社会資本整備審議会道路分委会関東地方小委員会

様

冠省

ご多忙の中大変に恐縮です。

私は、＜中部横断自動車道＞につきまして、6月1日付けで手紙を差し上げた者です。

お読み頂けたと思いますが、同様の手紙を国交省の方にも送り、送付後二週間目の6月15日に電話にて

① 国交省関東地方整備局道路部道路計画第一課長補佐小幡 宏様と電話で話しました内容と

② 6月18日国交省甲府河川事務所及び長野国道事務所よりの記者発表資料について

の内容の手紙をお送りいたします。

最後までお読み頂けますことと国交省の關係者に適切なご指導をされますよう心よりお願い申し上げます。

私 手紙を読んでいただけましたか？

小幡氏 『読ました』『市長と市議からも手紙が届いたとの連絡をいただいています』

私 何故、私達別荘所有者には一切知らせなかったのですか？

小幡氏 『何の意図もありません。ただ住民票から選んだだけです』

私 それでは今後も私達別荘所有者にはオープンハウスを開くつもりは無いのですか？

小幡氏 『広く様々な方法で、新聞とかラジオとか広報誌等で知らせています』

私 それでは、我々常時その場所に居ない者には伝わらないのですから、固定資産税の納付者表をもとに郵送したらどうですか？

小幡氏 『―――』

『いろいろな段階があることをご存知ですか？

今の段階は、構想段階であって広く意見を聞き、建設を行うかどうかをまず検討していただいて、そこで行うとなったらその箇所に關わる關係者の利害が絡むことになるのでその段階でそれらの關係者と話すようになるのですよ』

私 私の言っているのは、その構想の検討の前に出来る限り広く、別荘所有者あるいは住民に広く意見を聞くべきではないですか、と言っているのですよ。

小幡氏 『それについてはどのようにしたら広く知らせられるか考えています』

私 ですからオープンハウスの案内を郵送したらどうですか？

小幡氏 『全国の別荘所有者全てに送るのですか？』

私 そんなことは全く言っていないですよ。北杜市に別荘を持つ4,000軒の方にだけに送るべきだと言っているのですよ。佐久市の別荘所有者も必要かもしれませんが。

この部分のやり取りは非常におかしな、全く視点のずれた感覚としか思えませんでした。この問題の直接の關係者となる、北杜市と佐久市の住民と別荘所有者に知らせるべきと言っているのに何故に『全国の別荘所有者に送らなければならない』となるのか。

その後、また、

◆個人② (No.2)

小幡氏 『新聞とかラジオで知らせていますし。役所からの広報誌とかも出していますし、HPを見て欲しいです』

私 新聞とかラジオとかはその場所に居ない限り知れるわけが無いですよ。＜中部横断自動車道＞なるものの存在を知った私はこれから毎日HPを見ますが、その存在すら知らない他の別荘所有者はどうなるのですか？

小幡氏 『とにかくいろいろな方法を考えています。100%知らせると言うのは無理かも知れませんが知らせる努力はします』

私 100%知らせるのは無理と小幡さんが言うことは10%くらいには知って貰えば良い、ということでもありますね？

小幡氏 笑って『――』

笑って無言でしたことが彼の真意を知れたように感じました。

私 しつこいようですが、郵送してください。
ところで、地元の噂では、もうルートまで決まっているとのことですよ。

小幡氏 『そんなことは全く決まっています。今は構想の段階で、地形の傾斜とか等を検討している段階です』

私 地形の傾斜とかを言うから、おおよその想像がつくのですよ。
私は、構想を検討する前に広く住民及び別荘所有者に広く知らせるべきではないですか、と言っているのですよ。
この道路の是非かなど私は一切言っていません。
その前に広く知らしめて下さい、と言っているのですよ。
今日の私からの電話と内容は、国交省の関係者に必ず伝えて伝えて下さいませね？

小幡氏 『はい、必ず伝えます』

以上が電話でのやり取りの大筋です。
録音はしてはありますが、メモをしっかりと取ったものです。
嘘や誇張はありません。

――後述します＜意見交換会＞の日程・方法等すでに決まっていたはず
であろうのに全くあの電話で話されなかった理由をどの
ように理解すれば良いのでしょうか？――

HP上の記者発表資料によりますと、＜意見交換会の開催概要＞が書かれており、
――住民の代表者につきましては、参加を希望される方を募集します。

併せて、傍聴を希望される方についても募集を行います――
とありますが、その点を現地の方に問い合わせたところ、国交省が抽選で選んだ方一名と、南麓の会から一名、レインボーの会から一名のみの参加しか認められておらず、その上発言は3分間と決められているとのことですよ。

その上、＜意見交換会＞の会場が長野県南佐久郡南牧村の中央公民館です。
北杜市の問題でありますのに何故長野県で行われるのか。甚だ理解に苦しむと言
うか、すでに国交省側の建設決定事項のごときもので、＜意見交換会＞と言
えるものではありません。

その上、傍聴者の人数も＜公開意見交換会＞とは全く言えない数に限定され、
＜住民＞しか傍聴出来ず、別荘所有者では傍聴の参加資格さえ与えられており
ません。

正に、形式上での＜意見交換会を開いた＞という事実を残すためとしか言えま
せん。

私ども別荘所有者には目もくれない、6月1日付けの手紙など全く理解されて
いないことに異常な怒りを覚えます。

本小委員会の委員長はじめ委員の方々は、＜中立＞で＜見識＞があり、＜的確
な意見＞を＜ご発言出来る＞という条件で選抜されておられると理解しております。
広く意見を聞いてからと言う絶対的な条件が満たされていない、＜構想を検討
する以前に問題＞があることを是非ともご理解され、強く国交省の進め方に対
して苦言を申し上げご指導いただきたく強くお願い申し上げます。

全くの余談ながら、世界の先進国では、主要都市間には高速道路が走っていま
すが、それこそ地方の小さな街にまで高速道路を走らせようとしている国はお
そらく日本だけではないでしょうか。結果他の国には地方独特の美しさや文化
が残っていますが、消えているのも日本だけのように思えます。
日本全国で、新幹線の通っている街は全て金太郎飴のごとく同じ顔をしており、
高速道路が日本国中を張り巡らされることも同じ現象をもたらしています
ことはご賢明なる小委員会の委員の方々はご認識されていることと思います。

◆個人② (No.3)

そのような観点からも御小委員会の委員の方々にご判断頂けたらと切に願っております。

お忙しい中最後までお目を通していただき誠にありがとうございました。
何とぞ宜しくお願い申し上げます。

敬具

平成24年6月25日

[Redacted signature block]

2012年(平成24年) 7月4日 水曜日

2版 読者 (8)

山梨新聞

中部横断道計画 民意は広く聞け

◇中部横断自動車道長坂一長野・八千穂間の整備をめぐり、国土交通省関東地方整備局は長野県南牧村で公開の意見交換会を開くという。長野県と山梨県側では、道路需要や整備方法に住民の意見の違いがあると聞く。道路は一本につながって初めてその役目を果たすのだから、ぜひ、できるだけ多くの意見を取り入れて良い道路にしてもらいたい。

◇今年の初めに、約1カ月間、パネル展示説明会場が設けられ、多くの人たちが集まり、意見が寄せられたという。その上でアンケートも実施されるなど、関係者の努力も感じた。道路整備が比較的遅れてきた、南佐久地域の新設道路に対する

思いは強い。一方、山梨県側では、観光専用の通過型道路には拒否反応が出ている。これらの意見を一本にできれば、道路整備は難しい。

◇今回開催される意見交換会に期待したが、募集している住民の意見発表者が3人で、傍聴人枠が20人では、意見を聞く機会とは言い難いと思う。なぜ、10カ所以上で開催されたパネル展と同様の働き掛けがないのか残念だ。地元への説明予算が無くなったわけでもないだろう。意見やアンケートの集約・公表の仕方も疑問だ。意図的に意見を誘導したり、特定の方針に沿ったものだけを取り上げると、誤解されそうな行為は慎んでももらいたい。まず、誠実に多くの意見を聞く姿勢を示し、出直すことが必要だと考える。

中部横断自動車道推進室 長野県側

下記、私の個人的な意見が新聞に掲載されたことに対し、
貴方の御見解等あれば、お伺い致し、お送りします。

◆個人④ (平成24年7月8日)

関係各位

2012年7月8日

中部横断自動車道に関して

以下の理由を持って八ヶ岳南麓を横切る中部横断道建設に反対しています。

1. 東日本大地震の復興が先ではないか。
未曾有の国難にあります東北の復興こそ重要と考えています。中部横断自動車道建設にかけ
る事ができるお金があるならば今こそ東北復興にお金を回して頂きたい。
2. 現在提示されている課題点の解決策に現在の案では対応できない。
 - ①災害時の代替路確保
現在の案は旧清里有料道路を使用することが有力です。清里大橋は川俣溪谷にかかって
おり、その下流には国道141号があり、川俣溪谷で災害があった場合両方の道路が使え
なくなります。高速道路を災害時の代替路と考えるのであれば川俣溪谷とは違う場所に
高速を作ってこそ災害時の代替路となると考えます。
 - ②救急医療施設への移動時間短縮
長野県にお住まいの方は基本的に佐久の病院を現在活用しています。もし山梨方面の
救急医療施設を利用する場合、体制の整った甲府の病院を利用するのが一般的です。
北杜市でも重篤な患者の場合、長坂の甲陽病院ではなく甲府の救急病院を利用してい
ます。この現実からも長坂町に高速を繋ぐのではなく甲府により近い双葉JCTから須玉
インター付近で中央道に接続する方が救急医療施設への移動時間短縮となるのです。
 - ③生產品の輸送時間短縮
川上村の主要生產品の多くは東京大田市場へと運ばれています。であるなら輸送時間の
短縮するには双葉JCTから須玉インター付近で中央道に接続する方が生產品の輸送
時間短縮が可能となります。
3. 八ヶ岳南麓を横切るルートの問題点
八ヶ岳南麓は多くの別荘がたち、都会からは多くの移住者が移り住んでいます。このルートに
高速を通すということは長野県でいうならば軽井沢の別荘地帯を横切る高速道路を建設しよう
としていることと同じです。軽井沢の真ん中を高速道路が横切る事を想像してみてください。
八ヶ岳南麓に居を構える者にとってこれは到底受け入れがたいルートなのです。
4. 国交省の不誠実な対応
高速道路建設に反対している住民グループは再三、国交省に対して意見や質問を投げかけ
てきましたが、未だ納得いく説明を全くうけておりません。また別荘住民は今回の建設計画が
あることすら全く知らされない状況です。国交省が私達住民、別荘所有者と正面から向き合い
説明責任を果たすことを強く求めます。また今回審議して頂いている第三者委員会の委員の
方々には是非一度、八ヶ岳へ訪れ住民の本当の声に耳を傾けてください。これが私達の願い
であり切なる要望なのです。

以上

◆個人⑤ (平成24年7月8日)

国土交通省 御中

平成24年7月8日

中部横断自動車道、長坂-八千穂区間建設計画についての要望

〒
電話

私は、中部横断自動車道、長坂-八千穂間の建設計画地の中に住む住民です。
現在計画されている、中部横断自動車道、長坂-八千穂間、計画段階評価等について要望いたします。

①山梨県北杜市地域は世界に誇れる景観を有している場所です。この地の魅力に惹かれ他県から移住する方が非常に多く、日本でも住民が減ることのない「稀な地域」です。
この景観の中心部を突き抜ける高速道路は、非現実的で世界の時流にそぐいません。これから日本が、またこの地域が発展する上で、根本的な思考転換が必要となります。この景観と環境こそが、「北杜市の重要な価値」になっているのです。

道路整備はもう十分です。しかし、その上でも、どうしても中部横断自動車道が必要なら、この景観や環境を最小限に壊さずに済む、現在の「国道141号を拡張する方法」をお願いします。

②二回のアンケートの結果からも分かるように、長野県側と山梨県側では、建設の賛否に関わる住民の声が大きく違うことが判明しています。このことをふまえ計画段階評価は、長坂-八千穂間の一括ではなく、長野県側区間と山梨県側区間の二に分け、調査、審議、検討をお願いします。

③この計画段階評価二分割案について、小委員会で議題にとり上げてください。

議題に取り上げられたのか、取り上げられないのかの結果を文書にて回答ください。

④本日の、南牧村で行われた意見交換会でだけでなく、山梨県北杜市でも同様の意見交換会を開催してください。

その際、多くの方が参加でき、意見を述べられる場としてください。

開催の予定があるのか、ないのか、開催の検討をするのか、しないのか、文書にて回答ください。

⑤国土は、「国」「役人」のものではありません。

国土は「国民」の共有財産です。まして、その地域に関わる大型公共工事であるならば、建設地域の住民の意見を十分に聞き、意見を盛り込むなど、計画の判断をお願いします。

⑥今までの二回のアンケートの実施や、それに関わる結果報告、今回の意見交換会の開催計画を見ると、「住民の声を広く聞き、計画に反映する気持ちがあるのか？」疑問に感じます。

御省の今後の方策によって、「住民に対する姿勢」を判断することになりますが、住民と信頼関係を築きながら進めてゆくように願います。

以上

<回答は、平成24年8月末日までに「文書」にてお願いします。>

◆個人⑥ (平成24年7月8日)

中部横断道について

北杜市のどこを通しても、北杜市の住民の利用は極々僅かです。

時間をかけて慎重に、常識のある計画を策定いただきますようお願いいたします。

**【中部横断自動車道(長坂～八千穂間)建設反対表明と、
それに関わる要望事項】**

はじめまして。

私たちは、南に富士山、南から西にかけて南アルプス、北に八ヶ岳連峰、東に奥秩父連山を望む、八ヶ岳南麓の北杜市に定住する者です。

この地が持つ数多くの魅力に強く惹かれ、6年3ヶ月前にそれまで住んでいた英国から移住して来ました。

しかし今、この地を通る高速道路の建設計画が、表面化してきました。

この美しい自然景観と、豊かな湧水、数多くの貴重な動植物などを破壊し、絶滅させる可能性が高い、この地域を貫通する高速道路の建設には、断固として反対します。

また、この計画に携わっている「国土交通省関東地方整備局道路部」の方々と、「社会資本整備委員会道路分会関東小委員会」のメンバーの皆様に、以下のことを強く要望します。

1. 計画段階評価の結論が出る前に、北杜市において、地域住民や別荘の人たちが自由に参加できる、入場制限をしない「公開の意見交換会」を開催して下さい。

2. 地方小委員会のメンバーの方々は、計画段階評価の結論が出る前に、是非とも中部横断自動車道建設の計画地区になっている当地に視察に来て下さい。ご自分の目と足で現地を視察し、本当にこの八ヶ岳南麓の地に高速道路を建設することがふさわしいことなのかどうか、じっくりと考えてみて下さい。

以上2点を要望するとともに、再度、八ヶ岳南麓地区を通る高速道路建設計画に、強く反対します。

2012年8月

[Redacted Signature]

◆個人⑧ (No. 1) (平成24年8月23日)

中部横断自動車道佐久ルートの計画に関する件 お願い

小生は夫婦ともども八ヶ岳南麓に居住して十数年になる北杜市民の一人ですが、上記表題の件に関連して、小生夫婦が住んでいる場所、乃至はその近辺に高速自動車道が出来そうだという話を聞き愕然とすると同時に「財政状況が厳しい今の時期にこんな金のかかることを、しかも八ヶ岳の自然をある程度傷めてまでやるべきではない」と考え、敢えて拙文を取り纏め、お送りさせて頂くことにした次第です。

もちろん太平洋側と日本海側を結ぶルート確保の必要性はそれなりに大きいと感じております。しかし

- 1 今回の新道路建設の対象となる山梨県北西部から佐久地方を経て小諸地方に至る地域の人口分布、交通量、既存の国道141号線の現機能と今後の改良の可能性
- 2 長坂地区を起点に八ヶ岳南麓を通る当該道路の建設による八ヶ岳の森林の伐採損傷、広く山麓も含めての地下水への影響、定住者、別荘居住者を含む多くの人々の生活への影響
- 3 高速道路利用対象地域の人口密度を考えると利用者は多くなく採算が取れぬ大幅赤字路線化の可能性大

等の諸点を考えると、既存ルートの国道141号線の大規模改良による機能の充実とその活用により十分対応できるし、そうすべきであると考えます。

以下に本件についての私の意見を述べさせていただきます。

1 ルートの選定と八ヶ岳の自然保護の問題

太平洋側と日本海側を結ぶ道路としては、当初の案と言われている双葉JCTから直接八千穂方面に行くルートに替えて、現在は双葉JCTから長坂近辺まで中央道を20数キロ北西に走り、そこを起点に新たに八ヶ岳南麓の森を切り開いて建設するルート（以下八ヶ岳南麓案と呼ぶ）で八千穂方面に向かう案が有力になっていると聞いております。

しかしこの八ヶ岳南麓案では、道路のかかなりの部分が八ヶ岳の森の中を走ることになりますが、特に高速道路の規格に合致する上下4車線の道路を建設するとなると相当の幅で森林を伐採損傷することになり、同時にそこを走る地下水脈の切断を招くことになります。その結果は、大泉、小泉の地名の由来となっているとも言われる多くの水源に変化、場合によっては枯涸をもたらすと共に、数千軒はあると思われる定住者及び別荘居住者の生活に大きな変化と損失を与え兼ねません。

又、八ヶ岳は登山の対象として日本屈指の山岳ですが、それにもまして評価が高く多くの人々から愛されるのは広大な裾野に始まり頂上に至る雄大な姿とそこにある自然の織り成す美しさ、生息する動植物の豊富さであり、日本国内では真に貴重な存在と言えます。

我々は可能な限りこの美しい自然を今のままの状態で残すべく努力すべきと考えますが、八ヶ岳南麓案は逆にこれを大きく損なうものであります。

2 山梨・長野両県の交通事情と高速道必要性の有無及び今後の対応

a) 山梨県側の現在の交通事情

今回の建設計画の対象となる山梨県側の地域の交通事情について見ますと、山梨県側から長野県側に向かうのに利用されている道路は多く、国道141号線、レインボーライン、八ヶ岳高原ライン、泉ライン等がありますが、盛夏の行楽シーズン等、特別の時期を除けば、いずれも渋滞が生じるケースは極めて稀です。

また上記の諸道路を利用して山梨県側から長野県側に行く車は、最終的には国道141号線の山梨県と長野県の県境付近一野辺山の鉄道最高点の手前で合流し一本化することになりますが、国道141号線はこの付近でも渋滞が見られることは殆どありません。

従って山梨県側から見た場合、現時点では山梨・長野両県の県境付近の交通について渋滞等の不便を感じることはありません。

唯、メインとなる国道141号線は、一昔前の規格で作られた道路でもあり、特に長沢地区付近を中心に道路幅が狭く、拡幅や歩道の設置等、思い切った質の向上が是非必要です。しかし逆にこうした改良が実施されれば、山梨県側については今回問題になっている高速道の新設は必要がないと考えられます。

b) 長野県側の現在の交通事情

長野県側の交通事情について見ますと、国道141号線は山梨県から長野県に入ると、海ノ口周辺は急坂とカーブが連続する箇所があり、現時点ではこれがネックの一つとなっています。現在大規模な改良工事を行っており、ネック解消に大きく寄与することが期待されています。

この地点から先、小諸に向かう部分については、八千穂付近までは道路が千曲川と並行、隣接して走る箇所が多く、風水害によりしばしば交通遮断が生じておりますが、いずれも現在の土木技術を駆使して崖の切り崩し等を含む思い切った改良工事を実施すれば十分解決できる問題だと考えられます。

この先の佐久地方の交通事情としては、国道141号線は信号過多、道路幅狭路、その他で必ずしも機能が十分とは言えず、部分渋滞が生じる箇所が多く、更にこれが大きな渋滞に繋がるという問題があります。これについては、当該道路の拡幅、部分的な上下2車線化等、ネック部分の解消工事を思い切って実施すれば解決できると考えられます。現在すでに着手・進捗している部分もありますが、まだ緒に就いた段階で、今後さらに積極的に進めることが必要です。

この地域は、海ノ口から八千穂に至る地域と異なり、道路が山地の崩壊、河川の氾濫等の影響を受け難い平野的地形の中を走っており、前述の改良工事が比較的スムーズに行える状況にあります。

c) 山梨・長野両県の今後の対応策

以上、山梨・長野の県境から佐久地方にかけての地域の人口密度とこれに伴う交通量、現在の交通事情と今後の改善の可能性等を勘案すれば、膨大な費用を投入し八ヶ岳南麓の自然損傷を招いてまで高速自動車道を建設する必要性はなく、既存の国道141号線の思い切った改修で十分対応できるし、そうすべきであると考えます。

◆個人⑧（No. 2）

d)他県からの利用者との関係

国道141号線が前述のような大規模改修により機能を充実すれば、山梨・長野両県以外の利用者也、そのメリットを享受し得ることは当然ですし、他の高速道の利用と合わせ考えることにより不便を来すことはないと考えられます。特に名古屋方面からの利用者については、岡谷から長野自動車道の利用が可能なので、多くの場合問題はないと思います。

3 今後の取り組みについてお願い

冒頭でも申し上げたように、太平洋側と日本海側を結ぶルートの確保充実は必要で、これを否定するものではありません。

しかし、厳しい経済状況下、山梨・長野両県共、既存の国道141号線の機能の充実により十分対応できるにもかかわらず、貴重な八ヶ岳の自然を犠牲にするルートを選択し、到底採算が採れないと予想される道路の新設に多額の資金を投入することは絶対に考えられません。

これまでの計画案検討経緯等にこだわることなく、あらゆる可能性を追求した代替案の検討が必要と考えます。

八ヶ岳の素晴らしい自然を大事に保存しつつ経済性を徹底的に追及する計画案の策定が行われるよう心から願ってやみません。

以 上

〒

◆個人⑨ (No. 1)

(平成24年8月30日)

※ 道路局 企画部 吉田 様 へ

中部横断自動車道建設 長坂-八千穂間

八ヶ岳南麓ルートに717 命にかかろう内題27

反対 致しあ.

前略

私は千葉県南総に住む北総市の住人です。私はシックハウス
(化学物質過敏症)という病気を持っています。シックハウスとは国が認め
た住宅の病気で、このシックハウスの治療法は薬では治せず唯一の治療法
は、軍医の如く、出来る限り化学物質汚染のない所で生活することです。

…その①、②の八ヶ岳南麓は多量のシラカバノスミ類者が土地を求め、永性の水辺に
住みおこす。それ以外八ヶ岳南麓は多量の自然が残り、美しい空気、
美しい水があるという事だ。

和洋共存時代 大阪の都心のオビで住んでおられたが、20代前半はリカウズを
体験し、車の排気が入るだけの大阪市。ほとんどの外に出ることも出来てた。
1番休みの日は、鼻血が毎日の様に、汗も、体が汗ばさぬ様な
状態になり、首の辺り首からかいて、お尻にまで敷く痛む、夜布団に横たわると入
浴する、座り時、眠るときも汗が、お尻に半乾いた。食事も寝ても口の中が
乾く、喉が乾燥して、喉が走り、食事もお腹が膨らみ、死ぬ様子が、毎日のこと。

6年前に八咫に移り住む。此の地は元々体調が回復し元氣になれた所。別荘地帯は通常の田舎の様に田舎や畑、果樹園などで農業を営むに拘らず八咫の地へ又移り住む大泉町は有線無農薬農業が盛んで、自然食品店が6カ所あり排他的にリウマチ患者の治療として、有効な場所なのである。

答は「土地を捜し求めたのは15年前から。その時、八咫南麓に高速道路が走
る計画は、今のところまだ土地は購入していない。今更本が苦しい、死地
標の里に土地を捜し家を建てたのは、その15年の家を建てたとき
大分お金（約1億円）がなかったから。その15年の家を建てたときは特
に難しかった。本が苦しい、建てた家も、その頃の家と建てた家と
その土地を築いた事は、それはいい。でも八咫南麓に高速道路を作ると
いう土地の里に。」

道路は、佐賀のアクセスは、シブハス長者にとり、非常に苦であつ、都会
では、そのアクセスが原因で、シブハス長者の方がおそれる。
高速道路は、八幡、南鹿に出発して、大量のアクセスも使用が事に
おそれる。又、排気も汚染もシブハス長者にとり、非常に苦であ
る。このシブハス長者が、今でもおそれる事がある。

私の親の兄は東京大学法学部出身で、この件に関して相談をアッパツにお持ち。日本国憲法第25条で保障されており、『すべての国民は、健康で文化的な最低限度の生活を営む権利を有する』と決まっております。」

ところが八ヶ岳南麓の高速道路建設が未だ時勢に合っていないと見て、着的処置を以て、

又、市町村の別問題として、大都市に住する住民の大半は、既に自動車でも
甲府から来たる人も、高速道路は存在が殆どない。18と60%の人が下の道
の国道を通って来たりする。高速道路は、生活道路としては、全く利用されてい
ない。日本全国、東西に走る高速道路は、18と60が赤字地帯に向いており、
国の財政が非常に厳しい中、赤字の道路が目に見えてくる様々、中部横断自動
車道、高速道路建設、国民の血税を使って良かれ悪しかれ、これら
を作るとすれば、それはそれで、毎年度の約200億円の国庫支出を必要とする。

又、八ヶ岳南麓には別荘のうや、自治体に入りお城が完成した。数多く住人「お城」が
またその別荘の人達と自治体に入り、お城の完成は、今、アサヒが「お城」
の上を南に移動。高速道路建設予定範囲に住んでいる人達は土地を捨てた
人とは、この計画を知りたければ、一体どうするのだろうか？

又、他男に依りて私に似る人達の中には、多分の八城アリの者がお
り、八城の美しい景色に感動し、ぜひ一處訪れてみたいと言わねる者が
多い。八城・南麓に高速道路が出来ると知れれば、皆人目を惹
く「人工的景観破壊」、「自然破壊」と言われていた。八城の美しい景色は自然
は、日本の財産であり、世界に誇れるもの。日本の観光資源である八城・南麓
の高速道路計画の是非は、日本の国民にもアポイントを与えては

◆個人⑨ (No. 2)

No.3

その無理に押しつける最低限 高速道路計画に抑える 住民・関係の人の
金にポイントをつける 金銭的ポイントのやり直しを求めます。

北村 氏、関係住民も含めて 全参加の意見交換会、審議のやり直しを求めます。
民衆が公平に反映されておられるのであれば、ぜひともお願ひ申し上げます。

H24年 8月30日

※ 271ハウス、化学物質過敏症の診断書及び271ハウスとはどういう病気か？
という簡単な説明書を同封 せし頂きたいので 御一読し頂たく。
どうかお願ひ申し上げます。

◆個人⑩ (平成24年8月31日)

国土交通省

石田 雄一郎 国土交通省大臣 殿

最近、中部横断高速自動車道が八ヶ岳南麓を通過するという話を聞き、驚いています。

まず、この計画の必要度は非常に小さく、緊急度はまったくないようです。
今すぐ建設するのは、無駄遣いです。

財政危機のこの時期に、借金したり、増税して建設することは、許せないことです。

東日本大震災復旧工事や、東南海等の地震対策の工事こそ優先されるべきです。

次にルートですが、当局から八ヶ岳サービスエリアから清里方面へのルートが
提示されているようですがこれは自然環境を損なう大きな損失ルートです。

この地域は、自然にひかれて住み着いた人の多い地域であり、別荘の多い地域で
東京に近く自然の中で生活できる貴重な地域です。

高速道路がこの地域を通ることはこの貴重な価値を激減するもので、自然の動植物、
水、空気自然破壊以上に、多くの居住する人間に被害を与えるものです。

中央道との合流点を八ヶ岳サービスエリアでなく、ほかの場所にすることをぜひ
検討してください。

◆個人⑪

(平成24年8月31日)

国土交通省 羽田雄一郎 国土交通大臣 様

私は北杜市別荘所有者です。

八ヶ岳南山麓分断高速道路の件で意見を述べさせていただきます。

高速道路八ヶ岳南麓ルートに反対致します。

国道141号線のルート案もあったはずですが、わざわざ、

八ヶ岳PAまで遠回りして、自然がいっぱいの、場所を分断して、

費用の高くなるルートを選択した理由が全くわかりません。

又この計画を住民に積極的、知らせる事なく、

、限定的な人間を集めての説明会は納得できません。 後日反対の

グループの説明会をビデオで見ましたが、どう見ても公正な説明会

と思えません。八ヶ岳分断高速道路が開通する事による大きなデメ

リットを考慮されているのですか？別荘地としての価値が無くな

り、土地価格がさがり、地域の活性化に大ダメージが生じます。

今からでも遅くはありません、最初の141号線のルートを再考して

いただきたいと思います。

宜しく御願い申し上げます。

別荘所有者



◆個人⑫ (平成24年9月2日)

国土交通大臣 羽田雄一郎 様

八ヶ岳南麓を通り長坂PAにつながると予定されている中部横断自動車道路について、環境に対する負荷が過大になることを懸念しております。

長野県側の住民のご意見は理解できますが、山梨県北杜市側ではまったく事情が異なっており、示されている高速道路建設の根拠がことごとく崩れています。

八ヶ岳南麓は豊富な湧水群を誇り、風光明媚な環境に別荘地が広がる山梨県の価値ある地域です。下記の通りお願いいたします。

① 計画地周辺での道路建設に関する説明会を開催してください。

② 次の会合が開かれる前に、小委員会委員各位および国土交通省関係部署各位の現地視察をして下さい。

現地視察をされる時はご連絡をいただければ幸いです。
以上よろしくお願いいたします。

連絡先

◆個人⑬ (平成24年9月2日)

国土交通大臣 羽田雄一郎 様

八ヶ岳南麓を通り長坂PAにつながると予定されている中部横断自動車道路について、環境に対する負荷が過大になることを懸念しております。

長野県側の住民のご意見は理解できますが、山梨県北杜市側ではまったく事情が異なっており、示されている高速道路建設の根拠がことごとく崩れています。

八ヶ岳南麓は豊富な湧水群を誇り、風光明媚な環境に別荘地が広がる山梨県の価値ある地域です。下記の通りお願いいたします。

① 計画地周辺での道路建設に関する説明会を開催してください。

② 次の会合が開かれる前に、小委員会委員各位および国土交通省関係部署各位の現地視察をして下さい。

現地視察をされる時はご連絡をいただければ幸いです。
以上よろしくお願いいたします。

連絡先

◆個人⑭ (平成24年9月4日)

2012 年 9 月 2 日

国土交通大臣 羽田雄一郎様

中部横断自動車道建設に対する意見及び要望書

私は現在、北杜市長坂町白井沢に別荘を所有し、八ヶ岳南麓の生活をこよなく愛するものです。このたび、中部横断自動車道建設の問題を知り、以下に意見と要望とを申し上げます。

1. 八ヶ岳南麓ルートの建設に反対します。

私は現在構想されている中部横断自動車道の長坂―八千穂間の建設計画における八ヶ岳南麓ルートの建設に反対します。なぜなら、静かな環境、きれいな空気、星空、豊かな湧水などが破壊され、多くの動植物の生息環境が損なわれると考えるからです。

2.

1) アンケートと意見交換会、審議のやり直しを要求します。

私たち別荘所有者には道路計画自体も知らされず、意見を申し述べる機会も与えられておりません。したがって私たちの意思が反映されているとは言えません。

2) 別荘住民の意見を聞く場が設けられなかったのはなぜでしょうか。

八ヶ岳の別荘 8000 戸の住民が意見表明をする場が必要であることは自明であるにもかかわらず、今までその機会は設けられておりません。

3. 道路を南麓ルートにとった場合に生じる矛盾をどう説明するのですか。

国土交通省の「日本風景街道」に登録認定されている「八ヶ岳南麓エリア」のモデルルートであるレインボーラインと八ヶ岳高原道路と旧清里高原道路で囲む「八ヶ岳風景街道」は高速道路を南麓ルートにとると、相互に干渉します。

以上



◆個人⑮ (平成24年9月4日)

2012 年 9 月 2 日

国土交通大臣 羽田雄一郎様

中部横断自動車道建設に対する意見及び要望書

私は現在、北杜市長坂町白井沢に別荘を所有し、八ヶ岳南麓の生活をこよなく愛するものです。このたび、中部横断自動車道建設の問題を知り、以下に意見と要望とを申し上げます。

1. 八ヶ岳南麓ルートの建設に反対します。

私は現在構想されている中部横断自動車道の長坂―八千穂間の建設計画における八ヶ岳南麓ルートの建設に反対します。なぜなら、静かな環境、きれいな空気、星空、豊かな湧水などが破壊され、多くの動植物の生息環境が損なわれると考えるからです。

2.

1) アンケートと意見交換会、審議のやり直しを要求します。

私たち別荘所有者には道路計画自体も知らされず、意見を申し述べる機会も与えられておりません。したがって私たちの意思が反映されているとは言えません。

2) 別荘住民の意見を聞く場が設けられなかったのはなぜでしょうか。

八ヶ岳の別荘 8000 戸の住民が意見表明をする場が必要であることは自明であるにもかかわらず、今までその機会は設けられておりません。

3. 道路を南麓ルートにとった場合に生じる矛盾をどう説明するのですか。

国土交通省の「日本風景街道」に登録認定されている「八ヶ岳南麓エリア」のモデルルートであるレインボーラインと八ヶ岳高原道路と旧清里高原道路で囲む「八ヶ岳風景街道」は高速道路を南麓ルートにとると、相互に干渉します。

以上



◆個人①⑥

(平成24年9月4日)

前略失礼します。

私は、十年前に八ヶ岳南麓に別宅を建て、近くに畑を借り家庭菜園を楽しんでいる一人です。中部横断自動車道が自然豊かな八ヶ岳南麓を縦断する計画を知りましたが、私たち別荘所有者には何の説明もないまま計画が進んでいます。私は、湧水豊かな北杜市が好きで、家では、井戸水を利用しています。もし、建設工事で地下水脈が途切れたら、生活そのものができなくなります。そして、名水百選に選ばれた湧水が枯れたら、湧水に関わる人たちの生活は、地域経済は大きなダメージを受けます。

是非とも、私たち別荘所有者にも具体的な建設計画の説明をしてください。そして、自然豊かな八ヶ岳南麓の自然破壊につながるルート計画であるならば、計画の見直しをしてください。

草々

◆ 個人①⑦ (平成24日9月4日)

国土交通省 国土交通大臣

国土交通省 社会政策部 部長

山梨県 知事

北杜市 長

市田 雄一郎 様

石田 東生 様

橋内 正明 様

白倉 政司 様

2012-9-4

12

定年級以降に移住を志す北杜市市民

貴府「中部自動車横新道のルートは当初の奇案であり
双葉JCTから野田山に向け直ぐ北上のルートに下す」

平素は社会資本の充実に尽力の賜、御礼申し上げます。
私は45年間奥山に暮らし、この度仕事を終え、山麓に居住せしむる
定住の地にさせていたくことをいたしました。

と云う最近と云うもの、思わぬような騒ぎが起りました。
中部自動車横新道の建設問題とそのルートの問題です。

都心の近道、最後に残された、日本と世界に誇れる山岳の緑、砂礫、
伏流水、空気、屋といった自然の宝庫を高速道路建設で破壊するのは、
余りにひどい極まりを残す暴挙だと思っております。

いまだ高速道路建設より、海岸沿いの防災設備や、東に復興の備えを
なすと思っております。

さて、現に可能性を危惧されている、清里大橋と流用中央道に繋ぐ等、もし
停止した場合でも、結局は141号線の延長と長沢にループ橋を作るとの
情報をお聞きしました。

ループ橋の場合でも、今度は長沢地区の住民、移住者は大々的騒ぎと
騒音・大気汚染に悩まされることになり、長沢地区は騒音と汚染の
またその場所が非常に厳格な地です。

大橋と流用道路に流用等でも、141号線のループ橋でもこの騒ぎは収まりません。

もしもこの構想が実現すれば、双葉のジャンクションからそのまゝ佐久平に向かう上
の構想だったと云うことです。
いつの間にか途中の構想で変更するから、変更された方の住民感情は当然
収まりませんし、納得もいきません。

もしやろうと初等、どうり、為すべきは、双葉JCTが北に上
いたことだと思っております。

双葉JCT-第一山崎-斑鳩の東-飯坂山の東-野田山、のルートに下すは、
工事の難所は、多々あると思っております。

と云うルートで、この直線は、清水の最速で結ばれ、それと、高速の境
もあるかと思っております。

現に等のように、横新道の中央道と、約20kmも、中央道と併用し、わざと
迂回するのは、貴重な自然は破壊する、高速の未来は、危ない、
不自然でナセンス、多くの市民の不満をかうこと、必死と思っております。

終極の節減で中央道を併用するつもりだと思っております。付け焼刃のよう
な施策に思っております。

どうか、どうして実施せざるを得ない場合は、お断りいただき、お断りの
構想どうり、双葉JCTから野田山に向け直ぐトンネルで流用し、
行くルートにも下す様、何卒よろしくお願い申し上げます。

尚、白倉市長様より、御返答の程、お祈り申し上げます。

(18) 東京新聞本社、朝日新聞本社

◆個人⑱

(平成24年9月4日)

国土交通大臣 羽田雄一郎 様

八ヶ岳南麓を通り長坂PAにつながると予定されている中部横断自動車道路について、環境に対する負荷が過大になることを懸念しております。

長野県側の住民のご意見は理解できますが、山梨県北杜市側ではまったく事情が異なっており、示されている高速道路建設の根拠がことごとく崩れています。

八ヶ岳南麓は豊富な湧水群を誇り、風光明媚な環境に別荘地が広がる山梨県の価値ある地域です。下記の通りお願いいたします。

① 計画地周辺での道路建設に関する説明会を開催してください。

② 次の会合が開かれる前に、小委員会委員各位および国土交通省関係部署各位の現地視察をして下さい。

現地視察をされる時はご連絡をいただければ幸いです。

以上よろしくお願いいたします。

◆個人⑲

(平成24年9月6日)

中部横断自動車道の八ヶ岳南麓
(長坂-八千穂間)の地域に
高速道路は作らないでください。

自然あふれるこの地域に住む、地元
住民、都会よりの移住者、多くの別荘
住民の意見を聞いて欲しいです。

現地をぜひ見てください。

高速道路は必要ありません。

山梨県北杜市での意見交換会を
開いてくださるよう、お願い致し
ます。

◆個人②⑩

(平成24年9月10日)



ユリカモメ

私は山梨県北杜市大泉町在住です。
今この地域に中部横断自動車道の建設が予定されています。何故この地域に高速道路を通すのか疑問です。環境破壊、財源の無駄遣いを考えても八ヶ岳南麓を通る高速道路には絶対反対です。このような現状では 141 号線の改良が最適と考えます
是非 現地を視察し北杜市住民説明会を開催することを強く要望します。

◆個人②⑪

(平成24年9月10日)

国土交通省 羽田雄一郎
国土交通大臣殿

私は、山梨県北杜市高根町の
住民です。

今この地域に高速道路の建設
が予定されています。

環境破壊、経済的損失
税金の無駄遣い！
私たち住民は高速道路を望んで
いません。

是非、現地を視察して、
北杜市住民説明会を開催する
ことを確約して下さい。

よろしくお願い申し上げます。

◆個人②②

(平成24年9月10日)

国土交通省羽田雄一郎国土交通大臣殿

私は山梨県北杜市大泉町在住の[]といいます。
今この地域に中部横断自動車道の建設が予定されています。
何故この地域に高速道路を通すのか疑問です。
環境破壊、財源の無駄遣いを考えても八ヶ岳南麓を通る高速道路
の建設には絶対に反対です。このような現状では 141 号線の改
良が最適と考えます。
是非 現地を視察し北杜市住民説明会を開催すること確約してく
ださい。

(平成24年9月10日)

羽田雄一郎国土交通大臣様

現在国交省が進めている中部横断自動車道建設計画を取りやめよう。同部の新聞記事にもある様に八ヶ岳南麓を横断する高速道路を建設することは、貴重な大けの自然を破壊することになります。中止を望みます。また、国道141号線を改良する方法も考えて下さい。建設費用も新しく造るより改良する方が900億は少なくて済むという試算も出ています。今、必要なのは不要不急の高速道路を造ることではなく、東日本大震災の被災地を復興させることです。それらに貴重な税金を使わないで下さい。

それだけでなく国の借金も1,000兆円になるといわれる。これ以上の無駄使いは止めよう。そして貴重な自然を将来の世代に伝えていこう。大けの父君も長野県民と聞いています。長野県も山梨県も豊富な自然に囲まれた土地。祖父母から受け継いだ自然をぜひ守って下さい。ようお力添え下さい。

現在の山梨県北杜市の住民の方を同部の新聞記事で正確に下す。

八ヶ岳を横断する高速道路は造らなす下す。よろしくお願ひ致します。

九月七日

◆個人②④

(平成24年9月11日)

羽田雄一郎様

中部横断道 ハヶ岳南麓ルート
の計画が今、まさに動き出そうとして
います。ハヶ岳南麓に住む者の代
表として訴えます。

「中部横断道建設は絶対反対」です。
これは住民の要望です。。

◆個人②⑤

(平成24年9月11日)

30数年前に決定された、今の
東北の被災地復興の重要な
時期に国民の税金を不要
不急の工事に使う必要性を
認めません。
作ってしまったら、メンテナンス合
めどれだけのお金が必要かと思
います。

◆個人②⑥ (平成24年9月11日)

私は、山梨県北本市
高根町の住民です。

この地域に
中部自動車道の建設が
横断
予定されています。

なぜこの地域に高速道路を
通すのか疑問です。

住民は望んでいません。
税金のムダ遣いをして建設する
必要はありません。見直し下さい。
現地視察、北本市住民説明会を
開催することを、確約して下さい。

◆個人②⑦ (平成24年9月14日)

中部横断自動車道
建設を反対致します。

これからどんどん人口が減って
ゆきます。新たな道路建設より
今あるものを直しながら使って
時代ではないかと思えます。
大切なお金(税金)は今東北の
復興のために使ってください。
日本の皆が思っている事です。
大臣もどうぞもう一度考え直して下さい。

◆個人②⑧

(平成24年9月11日)

・山形県北杜市在住の者です。

——北杜市川淵沢——清里に中部横断道を通す——
ことを断固、反対します。

・全ての条件をご検討の上よく考えて下さい。

・北杜市民のせつない思いを……

・南麓ルート、推進されようとしている方を、現地を
視察されましたか、あきこに立って、それでもコング
リートを走りたい…と思われるでしょうか。
信じられません。

73才市民

・どうぞ、よろしくお願い申し上げます。

◆ 個人②⑨ (No. 1) (平成24年9月12日)

国土交通大臣及び国土交通省社会資本整備審議会道路分科会関東地方小委員会（以下、「地方小委員会」）委員長、石田東生先生、筑波大学大学院システム情報工学研究所宛要望書

2012年9月10日

To: 国土交通大臣 羽田雄一郎様

地方小委員会委員長 石田東生様

From: [REDACTED]

写し: 山梨県知事 横内正明様

北杜市長 白倉政司様 / 佐久市長 / 佐久穂町長 / 国交省関東地方整備局

レインボー / 別荘所有者の会 / 南麓の会 / 湧水地区 P/T / ハヶ岳ジャーナル

（自己紹介と前書き）: 南アルプス北岳の勇姿、甲斐駒ヶ岳とそれに連なる早川尾根やハヶ岳南麓高原の景観や自然環境に魅せられ16年前鎌倉市から小淵沢町に移住しました。電線・電柱さえなかったカナダのビクトリアとそっくりと留学中の娘も喜んでいました。ハヶ岳の自然環境や景観は、本当に貴重な財産だとも思いました。

しかし、この10年間を振り返ると、別荘小規模宅地の乱開発、美的感覚に乏しいぶつと電線・通信線の黒々とした乱敷、都心から近い短い夏の土日祝日は観光客などで人口倍増、車も多く車道の傷みも激しく補修も遅れ勝ち、伸び放題の雑草で歩道は見るとに忍びない、空街・空寂は勿論、（山梨県側鉢巻道路など）車からは見えない谷間には大型粗大ごみの散乱。地元では、美しい田圃と里山とか、何とか日本一とか標榜ばかりで、はたしてこれが長年観光発展を目指してきた文化的市町村といえるのでしょうか。文化（科学）と自然をうまく融合させる力がなければ日本国中どこにでもある市町村にすぎません。また、自然環境保全、地球規模でのエネルギー問題、ごみ処理問題および原発、新幹線・高速道など複合的問題を含めた多様な環境問題を皮相的にしか見ていない人びとが多いようにおもえます。当高速道問題を議論する以前にこうした点にもっと関心をもち真剣に議論したいものです。

（高速道問題）: 四ヶ月程前に初めて知った中部横断自動車道（山梨県長坂・長野県八千穂区間）問題に関する新聞記事やその関連情報に接し、高速自動車道がハヶ岳の景観保存や自然環境へ与える影響について危惧の念をもちました。我々住民ばかりでなく多くの人々にとって極めて大きな問題であるにもかかわらず、情報公開は（一部住民だけ対象の限定的広報のみで）近隣の人づてに聞いて知ったこと自体、問題ではないのでしょうか。行政の極めて不親切、非民主主義的な対応に怒りを通りこして呆れ果てています。真相を知られず（噂から噂の）風評 *注1に誰もが戸惑いを感じているのです。行政（特に山梨県と北杜市）はこうした姿勢を反省し、現計画とその詳細関連データを（別

要望書 w/私の思い_prepared by [REDACTED] 091012

1

荘の人たちを含む全ての地域住民へ）公開し、首長みずから丁寧に説明し、大都市ならばどこでもやっている公聴会や公開討論会を開き徹底的に議論すべきとおもいます。上記の情報非公開事例は単なる一例で、万事が同様ではないかと疑念をもっています。

*注1 ルート上の財源区山林の樹木伐採や土地売却思惑、補償金目当ての農地の緊急転用、別荘地の衰退型弱体化、高速道建設を踏まえた生コンクリートプラントの増設・整備、建設業者間の連携の動き、旧清里有料道路財政赤字（失敗）解消のための安易な選択等々

（約半世紀前のハヶ岳原風景）: 私が20歳の夏（昭和30年）、東京から中学時代の仲間5人と小海線の清里駅からテントを担ぎ、清泉寮を左に見て念願ヶ原をヘルマンヘッセの水彩画の様な景色を眺めながら歩き、美しの森でテント泊。翌朝、テント場から見たモルゲンロートに映える赤岳東面の巨大な岩稜の美しさに感動。大門沢から県界尾根に取付き赤岳に登頂、横岳、硫黄岳を縦走して夏沢峠にてテント泊。3日目は、東天狗・天狗岳往復、中山峠を通過して高見石、そこを東へ下って白駒の池辺にテント設営。冴え渡る月の光に辺りはまるで幽玄の世界でした。最終日、横断道路（299号線）工事が始まったばかりの麦草峠を下り、長野県蓼科温泉に近い小沢の湯（バス停）まで歩きました。

（原点に立返って）: 当時の豊富な高山植物や美しい白樺林、飛びかう多くの野鳥や高山蝶、深い静かな森林と動物たち、といった自然環境と比較すると、取り返しの付かないほど変化してしまいました。北杜市長坂町ではオオムラサキを大きなゲージで飼って日本一を誇っていますが、そんなこととも考えられなかったことです。標本のための乱獲や農家の長年の農業使用の影響も決して忘れてはなりません。周辺地域は観光開発や別荘のための宅地乱開発などで一時的に潤ったものの長続きせずハヶ岳中信国定公園とは名ばかり。歴史の長い欧米の保養地に比べ自然環境保護や観光開発力は実にお粗末です。比べようも無いが幸うじてヨーロッパアルプス地方のアルム: 夏の高原牧草地風景 (in the Alm) をおもわせる野辺山高原から清里高原周辺の一部の区域だけが約半世紀前とあまり変わっていないことがせめてもの慰めです。行政がしっかりと長期的総合的視点に立った持続可能な (Sustainability: 環境を破壊することなく資源利用を持続することができる) 観光開発や環境教育が普及していれば、イタリアやスイス、スウェーデン、カナダなどに匹敵する環境（観光）先進国になっていたことでしょう。町村合併前、町の議員たちは地域の観光開発研修と称し海外視察に出かけましたが、一体全体今その成果はどこにあるのでしょうか。

我が国は、戦後の復興で（経済力）先進一等国の仲間入り、GDP1位で有頂天。そしてバブル経済崩壊で（政治・経済・社会・教育共に）3等国入り。この間が約半世紀です。失われた20年のまま、長い間、日本の紙社会の中でお上の言いなりになってきた多くの市民は、3・11の東日本大震災をきっかけにその矛盾点にやっと気づきはじめたようにおも

要望書 w/私の思い_prepared by [REDACTED] 091012

2

◆個人②⑨ (No. 2)

えます。従来型の発想の仕方や発展を阻害する慣習や因習を捨て、あらゆる面において原点に立ち戻り、グローバルな感覚で物事を真剣に考えかつ行動することが肝要とおもいます。

私個人としては、これまでに得た様々な知識・経験を生かし良識ある人たちと共に社会、地域貢献活動に参画し、これ以上の環境悪化の防止と八ヶ岳周辺の自然財産の復原を目指し（長野県の近隣市町村と連携しながら）広域的な地域活性化策を考えたいです。その上で“中部横断自動車道”の問題解決に協力したいとおもいます。

本年7月8日開催された国交省関東地方整備局主催の意見交換会の結果をふまえ、第三者委員会としての地方小委員会への要望に私の思い・提案を加え次のとおり取りまとめました。関係各位の誠意ある対応と真摯なる審議ならびにフェアな提言を期待します。

地方小委員会への要望事項：

- 1 国交省や地方自治体の住民（別荘所有者を含む）に対する説明責任が十分に果たされていないことの調査及び提言ならびにその後の継続的監視
- 2 現在の最新計画案詳細（環境評価、技術上の問題点およびフィジビリティ・スタディの結果等を含む）の評価及び公表
- 3 南麓ルートが生き残り（南麓ルートが案出されたこと自体も疑問）国道141号改良案が消えた本当の理由の説明。さらに、国の財政問題、東日本大震災復興事業の本格化、全国的環境問題対応、高速道建設の最新技術研究開発への期待、既設老朽化橋梁・トンネル、道路の優先的補修または新設、及び当高速道計画の総合的見直しを理由として建設着工を現予定より2、3年延長する。
- 4 第三者審議機関としての地方小委員会の今後の審議・検討会および結果公表等に関するタイムスケジュール（工程表）の公表
- 5 上記4項目のために、地元側のフェアな全面的協力のもとに、地方小委員会全委員による現場視察（足による視察を含む。夏と厳冬期）の実施

私の思い・提案：“『賛成』『反対』には多様な考えがあり、7月8日に初めて双方が会して意見を述べ合う場は有意義だった。こういった機会を山梨でも設けて欲しい。” 傍聴した山梨県長坂町白井沢在住の白井恵子さんの談（7/10毎日新聞山梨版）。このコメントには大きな前進を感じました。また、意見表明した人たち及び参集者の全員が景観や環境を重視しており、これを共通の価値観として、コミュニティ（共同体）に対する正義感（Justice）*注2、をもち、当問題解決に向け真剣に議論すべきとおもいます。

国道141号線は昔から佐久往還道（佐久甲州街道）として日本海から長野県佐久・山梨県を通り静岡（太平洋）を結ぶ唯一の産業・流通・文化交流上の重要な動脈として大きな役割を果たしてきました。中部横断自動車道はこれに代替する、産業流通、観光開発、文

化交流や大規模災害時及び緊急医療に十分対応できる現代的多目的（高速）道路として、マクロ国民経済・社会上の要請から計画された新幹線道路と認識しています。それゆえに、当高速道問題は長野・山梨・静岡県広域に亘る視点で議論し、その結果を踏まえた上で地域の問題、たとえば、北杜市としては、動き始めた長期的エコグリーン環境対策、雇用対策としての大規模農園・果樹園誘致活動および関連事業運営ならびに付随的に生じる地域の生活交通円滑化や公共交通の利便性向上について議論すべきと考えます。私としては、前述した文化（科学）と自然を融合させる英知をもって、歌米環境（観光）先進国並みの美しい八ヶ岳の景観にマッチした高速道（人工美の所産）の実現を最低条件に、その他条件付にて賛成したいです。

その条件として、●（ルート）北杜市佐久間町一小海町一南牧村一川上村一清里一中央高速道ICまたは双葉IC周辺。●（規制）JR小海線（清里駅以北の区域）沿いの西側、中央高速自動車道（双葉IC一小海IC一富士見高原）の八ヶ岳寄りの区域を八ヶ岳中信高原国定公園環境保護特区として八ヶ岳自然環境保護特別規制区域に指定しいくつかの法規制（原条令など）を制定する。

また、●（工法）秋田多摩川国立公園区域及び山梨県側では標高700乃至800m以上の区域は、自然環境保護、生態系への影響回避、冬季安全運行対策（凍結防止や積雪時運行）及び周辺住民への景観と公害防止（騒音、排ガスなど）対策として、出来る限りトンネル及び地下シールド工法採用。一部で懸念される湧水保護、地下水対策は現在の最新技術をもって十分対応できるはず。他県山岳地帯高速道建設事例または北イタリア・スイス・オーストリア山岳地方の事例参考。

高速道問題に関係なく、他県に誇れる観光産業発展を目指し、特にヨーロッパアルプスやカナダを手本に日本型長期滞在型リゾート地開発（八ヶ岳高原ロッジ、清泉寮、富士見高原スポーツセンター村が好例。さらに青少年のための山岳および環境教育リーダー育成を兼ねて八ヶ岳東面に、厳冬期・積雪期の登山基地として通年利用できるヒュッテ新設・登山学校併設など）のため長野県側とも協力し、（民間の力も得て）八ヶ岳高原ライン（峠道、旧清里有料道路及び一部141号線を観光（一部有料）兼一般道路として補修・整備する。また、地方自治体として、自然環境保全のための一部財源に充当するため環境税の導入も検討すべきとおもいます。

*注2・・・たしかに「正義の味方」という概念など、寛容とは相容れない、あたかも妥協するのは不純だというようなニュアンスもあります。（笑）しかし、社会における正義を考えていく場合、どうしても異なる見方や利害の妥協や調整が必要になります。その場合、サンデル（ハーバード大学教授のマイケル・サンデル教授）的なソクラテック・メソッドにしても、いわゆる熱心な民主主義にしても、当事者が対話を通じて自分の考えを修正していくことが重要です。（宇野重規東大教授談）中央公論8月号“人間社会になぜ「正義」が必要なのか”の猪木武徳君山学院大学特任教授との対談より引用

以上

◆個人③⑩ (平成24年9月18日)

Q. どうして. WHY? ?
 どうして. ?
 Q. どうして? ?

2000億円もの金額を
 あまりに価値のない道路に使うのでしょうか?

東北の復興支援に使って頂きたい。

〇〇〇省 → 〇〇〇省へお金を
 移動させる事はできないと聞きましたバ、
 それってへん であ。皆で助け合
 ましょう!

◆個人③⑪ (平成24年9月21日)

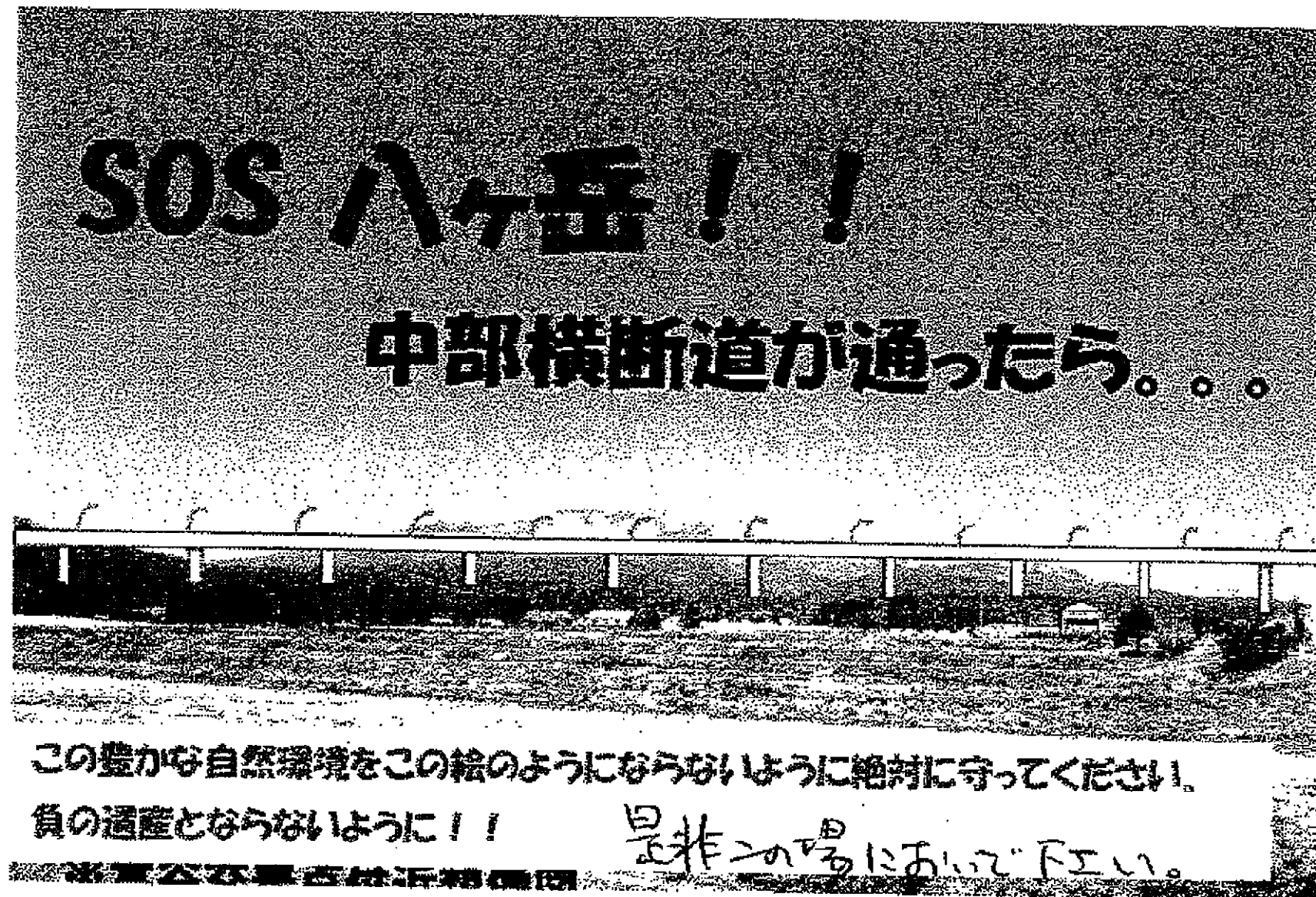
羽田雄一郎国土交通大臣殿

私は山梨県北杜市在住のものです。

今この地域である八ヶ岳南麓に高速道路を通す計画がありま
 す。何故この美しい景色と環境を壊してまで高速道路を作ろ
 うとするのか疑問です。

是非現状の国道141号線の改良を強く望みます。

◆個人③② (平成24年9月21日)



国土交通省 ホットラインステーションへ頂いた意見

番号	年月日	ご意見・ご質問等の内容
1	12 年 8 月 16 日	中部横断自動車道路について要望致します。 1) 現在ハケ岳南麓を通るルートが計画に上がっているようですが、この案は是非とも撤回くださるようお願い致します。豊かな自然に恵まれたこの地域に高速道路を建設することは、先祖から受け継ぎ、美しいまま子孫に受け渡すべき義務を負った、現代に生きる私達の使命に反するものだと考えます。 2) そして、この地に住まう私達別荘住民には、この自動車道路の山梨県側ルートに関して、何ら説明がなされておられません。どうか一刻も早く説明会を開催くださるようお願いいたします。 3) 上記の件、ご返事を下さるようお待ち致します。
2	12 年 8 月 16 日	山梨県北杜市大泉町西井出に住む[]と言います。このたび、このハケ岳南麓に中部横断自動車道の計画があることを知りました。一年の内半分以上をここで暮らしていますが、今まで説明会などを開いてご説明を頂いてはいませんでした。なぜこの地に高速道路を造る必要があるのか、是非説明会を開いて頂き、ご説明をお願い致します。 ここは冬季は積雪・凍結があり、傾斜もあり、高速道路には向いていません。そして何より地元の住民に高速道路の需要がありません。今現在、さまざまな環境破壊に対する危機が言われています。日本が誇る環境優良地の北杜市南麓を、どうか高速道路建設で汚さないで下さい。特に大泉町西井出は野鳥の宝庫で、樹齢何十年という木々もたくさんあります。これらの環境は、一度壊したら、二度と元通りにはなりません。どうか、このままの自然を残して下さい。このハケ岳南麓に高速道路建設をしないで下さい。
3	12 年 8 月 18 日	中部横断自動車道 八千穂・長坂間を結ぶ高速道路計画に反対をします。道路建設に反対する集いが増え、住民のつながりが強くなっています。何故このような動きがあるのか、それはこのすばらしい景観がハケ岳中信国定公園に位置し自然環境が守られているからこそ多くの方々が終の住処として都心から移住してきています。私もその一人です。そして北杜市も長期滞在型リゾート地として推進し、発信しています。この地に国交省は景観を分断、破壊する高速道路を計画していますそこで関東地方整備局及び小委員会の皆様には是非このハケ岳山麓の道路建設計画地 第1案——全区間で新たに道路を整備する案 第2案——旧清里有料道路を一部区間で有効利用する案、第3案——案国道141号を4車線で改良する案を見て頂くこと、そして私たちの望む第3案が最も道路建設には適していることをご理解して頂きたい。 また北杜市で住民の参加制限のない意見交換会を開催すること以上を強く要望し具体的な確約を小委員会で決定して頂きたいと考えます。また下記の事故も今計画の中部横断自動車道建設ではあり得る事と考えます。その例【上信越道で60メートル土砂崩れ 長野・小諸、玉突き事故も土手が崩れトラックが土砂に巻き込まれた上信越自動車道の現場＝19日午後0時9分、長野県小諸市で共同通信社ヘリから19日午前6時15分ごろ、長野県小諸市甲の上信越自動車道で、上り線側の土手が約60メートルにわたって崩れ、道路内に流出した。男性運転手(34)のトラックが土砂に巻き込まれたが、けがはなかった。同自動車道は上下線とも小諸－佐久のインターチェンジ間が通行止めとなっている。県警高速隊によると、崩れた土砂は幅約10メートル、厚さ約1メートルで、一部は上り線を越えて下り線側まで流れ込んでいる。通行止めの影響で同日午前8時ごろには、土砂崩れの現場から約10キロの同県佐久市下平尾の下り線で、停車中の車列に男性(34)の乗用車が突っ込み、計6台が絡む玉突き事故が発生、男性らがけがをしたとみられる。東日本高速道路佐久管理事務所が道路の復旧を急いでいる。2008/01/19 06:37 【共同通信】このような事故は地形的にも問題があったはず。北杜市にも土砂災害特別警戒区域及び土砂災害警戒区域がありそれがちょうど第1案、第2案がその地域を横断するように計画されています。それは北杜市防災マップを見れば明らかです。7月の九州を襲った豪雨による河川の氾濫、土砂崩れは何十年もの間起こらなかったまさかの災害です。それは3.11の震災も然り。それらの経験を通してこの八千穂・長坂間の中部横断自動車道建設は非常に危険です。以上をふまえ、現地視察と意見交換会を北杜市で開催する事を強く要望いたします。

国土交通省 ホットラインステーションへ頂いた意見

番号	年月日			ご意見・ご質問等の内容
4	12 年	8 月	21 日	中部横断自動車道、八千穂ー長坂区間(双葉から長坂に西方向に引く必要が有るのかも疑問)のコースについて、公共事業構想段階における計画策定プロセスガイドラインに沿わずに事態が進んでいる事を憂慮いたします。地域住民及び関係者に、早い段階から説明するという段階が実行されていませんでした。 この地域は、首都圏から近いために、近年多くの人々が、将来の住居地とも考えて別荘を購入しています。山梨県の、清里大橋を利用する案は、此の別荘地を分断する形になりますが、別荘所有者の多くは、全く知らされてきませんでした。
5	12 年	8 月	23 日	中部横断自動車道の北杜市ルートに反対します。 私は北杜市大泉町に16年間住んでいます。つい数日前まで四、五日新宿に戻っていたのですが、大泉は天国です。その天国に無粋で時代遅れの高速道路が建設されるかもしれないというので、町中が大騒ぎしています。しかも大泉ルートの計画は政治がらみというので憤懣やるかたなしというところです。 北杜市は豊かな自然に恵まれた場所です。天然自然がこれほど色濃く残っている場所にはほんじゅうさがしてもそうはないのじゃないでしょうか。経済力が下降して誇りに思えるものがなくなりつつある今、この自然は誇りうる財産です。今から益々そうなるのではないのでしょうか。そんな中、自ら自分の財産を破壊蹂躪しようという中部横断自動車道の北杜市への乗り込むは天に唾吐く愚行です。再考を求めます。
6	12 年	8 月	23 日	私は山梨県北杜市大泉町の別荘住民です。 中部横断自動車道が八ヶ岳南麓を通る計画に強く反対します。 この八ヶ岳南麓を通る計画について、現在までこの地区の別荘住民にはなんの情報提供もなく、固定資産税や住民税等を払って居るにもかかわらず無視されており、この不当な扱いは到底受け入れられません。道路計画を進めるに必要なプロセスである住民への説明と意見聴取の責任において重大な欠落があると考え、この八ヶ岳南麓を通る高速道路ルートについて、この地区にある別荘住民への説明、アンケート集計ならびに意見交換会の開催を要求します。 この中部横断道の長野ー中央道の接続ルートは当初双葉インターチェンジであったものが、計画の基本段階(1997年)に突然前触れもなく、八千穂と長坂を結ぶルートに変わったと聞いています。八ヶ岳南麓はその頃に比べ、私たちを含め多くの住民が暮らすようになっており、その生活に与える影響は計り知れなく大きくなっています。双葉インターへの接続を含め、改めてルートの選定を評価する必要もあると考えます。
7	12 年	8 月	29 日	中部横断自動車道の件 八ヶ岳南麓、田畑が広がり森有り湧水有り青い空富士山、八ヶ岳、南アルプスが望める地域。高速道路を作る事によって環境破壊、希少動物の生態をだめにしてしまう、(山紫水明)北杜市これを失います。一度崩してしまった物は元に戻りません。国土交通省は市民の税金で道路を作ろうとしています。貴方方の給料も税金からです。バブルの時代は終わりました。道の意味は民家、商店があり道路があり高速道路は道ではないと思います。リゾート地に移住してきた住民に何も説明も無く何故行政のみで判断決行するのですか？従来の道の不便のみ拡張ではだめですか？

国土交通省 ホットラインステーションへ頂いた意見

番号	年月日			ご意見・ご質問等の内容
8	12 年	8 月	29 日	中部横断自動車道長坂～八千穂区間の山梨県北杜市側の「長坂～清里」建設計画に反対いたします。 北杜市側は一般道がかなり便利に整備され、今現在も一般道の工事が各所で行われています。民意は高速道路の必要性を感じておりません。ハケ岳南麓高原のすばらしい景観を破壊してまで作る根拠が全くありません。 「しっかり、環境に配慮して……。」などと、小委員会の議事録の「事務局」といわれる方が発言されていますが、地下に掘り下げる「堀割式」も環境破壊を引き起こします。ハケ岳南麓高原には貴重な南麓湧水群が存在しております。これは、太古の昔からの恵みであり、日本の宝です。平成の世、歴史の一時代を通過するだけの人間が「わたくし」してしまってよいはずがありません。後世にまで伝えていく義務と責任があるのです。民意を無視した中部横断自動車道長坂～八千穂区間の「長坂～清里」区間の建設計画に断固反対いたします。
9	12 年	9 月	14 日	中部横断自動車道・長坂～八千穂について、7月8日に行われた意見交換会の議事録はアップされないのですか？傍聴もできず、ケーブルTVにも加入していないので内容を知りたい。今年の2月に初めてこの道路の計画を知りましたが、1回目のアンケートから参加したかったです。PRが充分だったとは思えません。なぜこのルートなのか？双葉ジャンクションを利用したルートにはできないのでしょうか？コミュニケーション活動はこれで終わりですか？国の説明、いろいろな立場の方々の意見を生で聞きたいと思います。何度でも意見交換会なり説明会を開いていただきたいと強くお願いします。